



M 2 0

取扱説明書



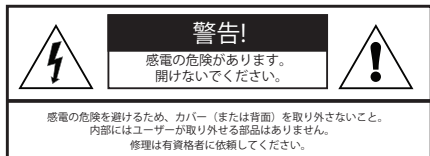
Bluetoothの商標およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、いかなるものでもありません。  
Armour Home Electronics Ltd.によるこれらのマークの使用は、ライセンスに基づくものです。  
aptX®マークおよびaptXロゴは、CSR plcまたはそのグループ会社の商標であり、1つまたは複数の国で登録されている場合があります。  
その他の商標および商号は、それぞれの所有者のもです。

# 目次

安全性について .....	1
重要なお知らせ - 必ずお読みください .....	1
本製品の正しい廃棄方法 .....	1
はじめに .....	2
商品内容 .....	2
機能の概要 .....	3
有線接続 .....	3
ワイヤレス接続 .....	3
音響 .....	3
リモコン用電池 .....	3
主な機能 .....	4
スピーカーの背面接続とコントロール .....	4
スピーカーの制御 .....	5
リモコン操作 .....	5
操作方法 .....	6
スピーカー間の接続について .....	6
スピーカーの設置・組み立て .....	6
スピーカーEQスイッチの調整 .....	6
オートスタンバイ機能 .....	6
Bluetoothでオーディオを再生 .....	7
Bluetoothペアリングリストを消去 .....	7
光デジタルによるオーディオの再生 .....	7
アナログでオーディオを再生 .....	7
USBを使ったオーディオの再生 .....	7
LEDの状態について .....	8
製品仕様 .....	8
アンプの性能 .....	8
スピーカー .....	8
電源 .....	8
Bluetooth®搭載 .....	8
外形寸法 .....	8
重量 .....	8
専用アクセサリ (別売) .....	9
保証について .....	9
お問い合わせ先 .....	9

## 安全性について

### 重要なお知らせ - 必ずお読みください



このマークは、本機に付属する説明書に重要な操作方法やメンテナンス方法が記載されていることを示しています。



このマークは感電の危険がある危険電圧がこの機器内に存在することを示しています。



この装置は、クラスIIまたは二重絶縁電気機器です。この装置は、アースへの安全接続を必要としないように設計されています。

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。  
すべての警告に注意を払ってください。  
必ず手順に従ってください。

- ・水の近くでは使用しないで下さい。
- ・お手入れは必ず乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・換気口をふさがないでください。
- ・メーカーの指示にしたがって設置してください。
- ・ラジエーター、暖房器具、ストーブなど熱を発生する器具（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
- ・電源コードを踏んだり、挟んだりしないようにしてください。特にプラグやレセプタクルが挟まれないように注意してください。特にプラグやコンセント、機器から出る部分などです。
- ・メーカー指定の付属品・アクセサリを使用してください。
- ・メーカー指定のスタンド、ブラケット、付属品以外は使用しないでください。
- ・雷雨のときや長時間使用しないときは、本機の電源プラグを抜いてください。
- ・必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んで使用してください。
- ・製品の上に口ソクなどの裸火を置かないでください。
- ・電池（電池パックまたは装着された電池）は、太陽光や火気などの過度の熱にさらされないようにしてください。
- ・火災や感電の危険を避けるため、絶対に分解したりカバーを外したりしないでください。
- ・本機の主電源電圧は、リアパネルに記載されています。主電源に接続する前に、その電圧がお使いの主電源と同じであることを確認してください。

**注意：** 製造元が明示的に承認していない変更や改造を行うと、この装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

**注意：** 本書で指定された以外の制御や調整、手順を行うと危険な状態になることがあります。

**警告：** スピーカーの主電源スイッチはリアパネルにあります。このスイッチに自由にアクセスできるようにするために、本機は障害のないオープンな場所に設置してください。スイッチを自由に操作できる状態にしてください。

**警告：** 火災や感電の危険を減らすために、この製品を雨や湿気にさらさないでください。また、本製品の上に花瓶などの液体が入ったものを置かないでください。

- ・窒息の危険を避けるため、すべてのポリ袋は乳幼児の手の届かないところに置いてください。袋や梱包材は乳幼児や子供の手の届かないところに保管してください。
- ・万一、本製品を第三者に譲渡する場合はこの取扱説明書を同梱してください。

### 本製品の正しい廃棄方法



このマークは、この製品が他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示すものです。  
廃棄物の無秩序な処分による環境や人体への危害を防ぐため責任を持ってリサイクルし、材料資源の持続可能な再利用を推進してください。

本製品を廃棄する場合は行政の指示に従い、正しく行ってください。

適切に廃棄・処理することで環境や人体への危害の可能性を防ぐことができます。

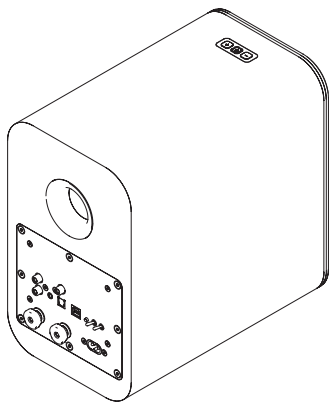
材料資源の持続可能な再利用のため、適切にリサイクルの推進にご協力ください。

## はじめに

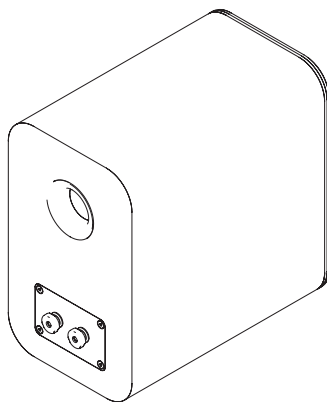
この度は、Q Acoustics M20ワイヤレスミュージックシステムをお買い上げいただきありがとうございます。  
このマニュアルは、セットアップとインストールを行い、製品から最適な性能を引き出すことを目的としています。

本製品を安全かつ満足にお使いいただくために、設置および使用前に取扱説明書、重要な安全情報および警告をよくお読みください。

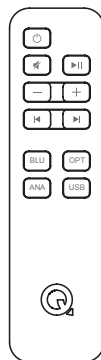
## 商品内容



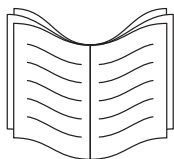
1 x アンプ付きスピーカー



1 x パッシブスピーカー



1 x リモートコントローラー



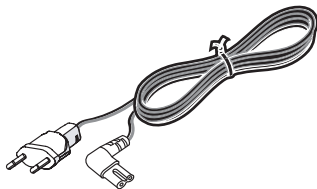
2 x 取扱説明書



2 x スポンジ



2 x リモートコントローラー用電池



1 x 日本国内用電源ケーブル



1 x 4m スピーカーケーブル

## 機能の概要

### 有線接続

- アナログ音声入力-ステレオフォノソケット(RCA)または3.5mmステレオジャックで、CDプレーヤーなどの外部アナログ音声ソースに接続できます。
- 光デジタル入力-テレビなどの外部デジタルオーディオソースを接続することができます。
- スピーカー出力-ステレオ4mm/バイディングポストアンプ付きスピーカーからパッシブスピーカーへの接続が可能です。
- USB-USBタイプBのケーブルで、コンピュータ機器に接続することができます。
- Sub Out-フォノサブウーファー出力で、外部サブウーファーに接続できます。

### ワイヤレス接続

- Bluetooth® HD-互換性のあるすべてのデバイスからオーディオをストリーミングするために使用される国際的なワイヤレス接続。
- AVRCP-Q Acousticsスピーカーを簡単に統合するために、ボリュームとミュートのデバイス制御を同期させるBluetooth制御プロトコルです。

### 音響

- 左/右ポジションスイッチ(P4参照)により、アンプ付きスピーカーを左右どちらにでも配置できます。アンプ付きスピーカーは、電源コンセントに近い方へ配置できるようにします。
- EQスイッチ-最高の音響性能を得るためのEQ設定をユーザーがコントロールすることができます。スピーカーの位置や取り付け方法、ユーザーの好みに応じて変更することができます。

## リモコン用電池

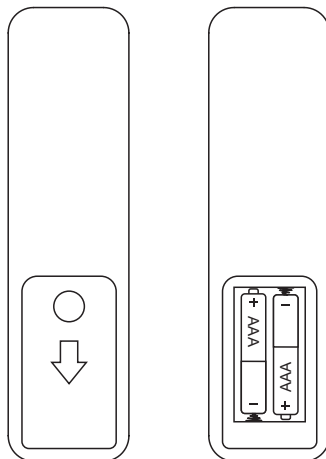
### 電池の取付・交換

- 電池カバーを図の方向にスライドさせてリモコンから外す。
- カバーを持ち上げてリモコンから外す。
- 期限切れの電池を取り出します(必要な場合)。
- 新しい電池を、図のように極性に注意して装着してください。電池を交換するときは、同じ単4形電池を使用してください。

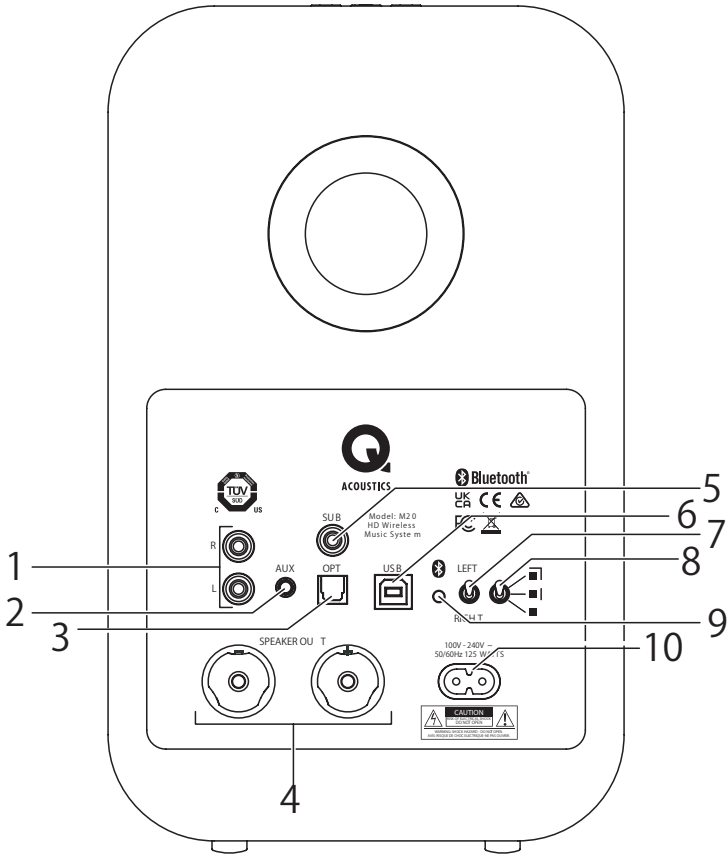
アルカリ乾電池を推奨します。他の種類の電池を使用すると、液漏れして破損することがあります。

### 電池の廃棄

使用済みの電池は、お住まいの地域のリサイクル法に従って処分してください。電池をショートさせたり、水やゴミ箱に捨てたり、火の中に入れてたりしないでください。



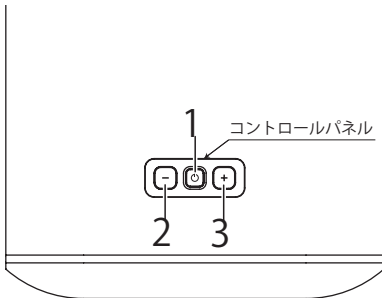
## スピーカーの背面接続とコントロール



1. アナログフォノ端子 (RCA)  
アナログオーディオソースの接続
2. アナログ3.5mm端子  
アナログオーディオソースの接続  
(フォノソケットを無効にする)
3. オプティカル端子  
光デジタルオーディオソースの接続
4. スピーカー出力 (バイディングポスト)  
パッシブスピーカーへの接続
5. サブ  
オプションの外部サブウーファーへの接続
6. USB  
コンピュータのオーディオソースから接続
7. 左/右ポジションスイッチ  
アンプ付きスピーカーを左右どちらに配置するか選択  
(正面から見て右側の場合RIGHT、左側の場合LEFT)
8. EQ切替  
スピーカーの低音域の特性を調整
9. Bluetooth  
押しすと、BTペアリングモードになります
10. AC電源  
主電源100vに接続

## 主な機能

### スピーカーの制御



#### 1. スタンバイ/ソース

押して電源を入れ、長押ししてスタンバイ状態。  
押してソースを変更。  
スタンバイ時に長押しするとディープスタンバイになります。

#### 2. **—**

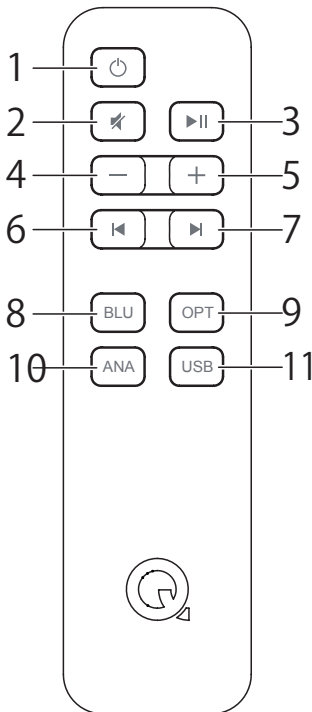
押すことで一段階音量を下げます。長押しすることで連続的に音量を下げます。

#### 3. **+**

押すことで一段階音量が上がります。長押しすることで連続的に音量が上がります。

注：**—**と**+**ボタンを同時に押すと音量が20%になります。

### リモコン操作



#### 1. **⏻**

システムをスタンバイ状態にし、オプティカル入力に電源を入れる

#### 2. **🔇**

スピーカーのミュート/ミュートを解除

#### 3. **⏮**

BluetoothまたはUSBソースのオーディオを一時停止/再生

#### 4. **—**

短く押すと音量が1段階下がり、長く押すと連続的に音量が下がります

#### 5. **+**

短く押すと音量が1段階上がり、長く押すと連続的に音量が上がります

#### 6. **⏮**

BluetoothやUSBの音源を巻戻し

#### 7. **⏭**

BluetoothやUSBの音源を早送り

#### 8. BLU

Bluetooth入力を選択し、長押しでペアリングモードに設定

#### 9. OPT

オプティカル入力を選択

#### 10. ANA

アナログ入力を選択

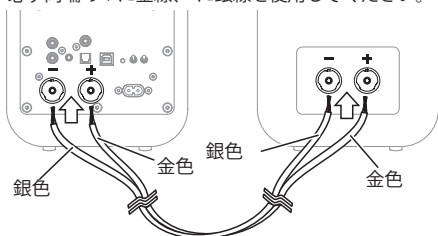
#### 11. USB

USB入力を選択

## 操作方法

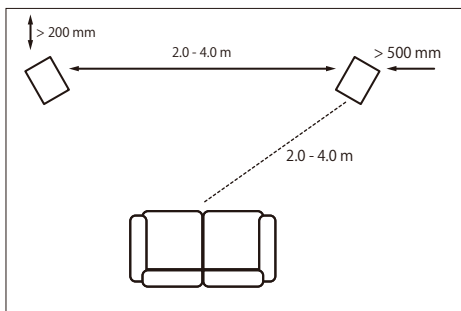
### スピーカー間の接続について

まず、付属のスピーカーケーブルを2台のスピーカー間に接続します。配線は、+と-の極性を識別するために異なる色になっています。必ず両端の+に金線、-に銀線を使用してください。



### スピーカーの設置・組み立て

スピーカーは平らな面に2~4mほど離して設置することが理想的です。



また、M20を3000iSTフロアスタンドまたは3000WBウォールブラケット（別売）に取り付けて使用することも可能です。

左/右ポジションスイッチ（P4参照）により、アンプ付きスピーカーを左右どちらにでも配置できます。アンプ付きスピーカーは、電源コンセントに近い方へ配置できるようにします。

### スピーカーEQスイッチの調整

• スピーカーの低域特性は、壁、棚、コーナーなどに対するスピーカーの位置によって影響を受けるため、お好みの低域レベルに合わせて調整することができます。M20スピーカーを「EQ切替（P4参照）」で切替て各々試聴し、最も満足のいく位置を選んでください。

- 低音の出力が最も高くなり、壁や角から離して設置する場合に適しています。
- | 低音の出力が中位になり、壁際や棚の上にスピーカーを置く場合に適しています。
- | 低音の出力が最も少なくなり、スピーカーを部屋の隅に設置する場合に適しています。

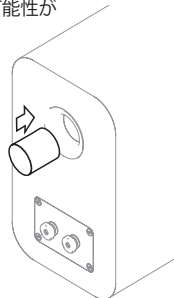
### サブウーファーとの接続

オプションでサブウーファーをアンプ付きスピーカーに接続することができます。サブウーファーには、レベルおよびクロスオーバーのコントロールが必要です。サブウーファーを接続した状態で、低音の効いた音楽を再生し、好みの音になるようにサブウーファーコントロールを調整します。

### バスレフポート

M20スピーカーはリアポートタイプで壁から200mmほど離すなど、背後に空間を設けると最適に動作するように設計されています。スピーカーを壁や角に近づけて設置する場合は、スポンジをバスレフポートに挿入する必要があります。そうしないと低音が過過ぎる可能性があります。




- スポンジがバスレフポートにびったりとはまり、奥まで挿入されていることを確認してください。



低音のレベルは下がりますが、解像度と低音の伸びは向上します。

また、スピーカーの位置を少し変えるだけで、最終的に最適な状態にすることができます。

### 電源を入れる

- 電源ケーブルをアンプ付きスピーカーに接続し、主電源コンセントに差し込みます。電源を入れるとスタンバイLEDが赤く点灯します。
- 電源を入れるには、を押すかコントロールパネルを押します。
- スタンバイ状態にするには、リモコンのを押すか、コントロールパネルの長押しします。

### オートスタンバイ機能

M20システムには、省エネのオートスタンバイ機能が搭載されています。

20分間音楽が流れないと、システムは自動的にスタンバイ状態になります。



## 操作方法

### Bluetoothでオーディオを再生

M20では、多くのBluetoothデバイスを使用してオーディオを再生することができます。まず、以下の手順でBluetoothデバイスをスピーカーとペアリングする必要があります。

1. リモコンのBLU入力ボタンを、スピーカーの青いLEDが点滅するまで押し続ける。または、アンプ付きスピーカーの背面にあるBluetoothボタンを押すと、LEDが青く点滅します。
2. お使いのデバイスのBluetooth設定を選択し、デバイスの中にM20HDを探します。
3. 新しいBluetoothデバイスのリストでM20HDデバイスを選択します。接続すると、LEDの点滅が止まり青色で点灯したままになります。
4. これで、デバイスからオーディオを再生することができます。

一度ペアリングした機器は、次回からM20に接続するだけで電源が入り、Bluetooth入力が選択されるようになります。音声を再生するときは、本体やリモコン、アンプ付きスピーカーのボタンで音量を変更することができます。また、リモコンを使って再生、一時停止、曲のスキップができます。

### Bluetoothのペアリングリストを消去


必要に応じて、以下の手順でBluetoothペアリングリストのメモリーからすべてのデバイスを消去することができます。

1. リモコンのBLUボタンを長押しして、スピーカーをBluetoothペアリングモードにすると、LEDが青く点滅します。
2. リモコンのBLUボタンをLEDが消えてから3回点滅するまで、もう一度長押しする。

これでBluetoothペアリングのリストはメモリーから消去され、接続するには再度ペアリングする必要があります。


### 光デジタルによるオーディオの再生

デジタルオーディオソースをアンプ付きM20スピーカーに接続するには、標準的なTOSLINK光ケーブルを使用します。

- リモコンのOPTボタンまたはスピーカーの  をLEDが白く点灯するまで押す。

リモコンやアンプ付きスピーカーのボタンで音量を変更することができます。

### アナログでオーディオを再生

- フォノソケットまたは3.5mmステレオジャックソケットを使用して、アナログのオーディオソースを接続してください。リモコンのANAボタンを押すか、 を押してLEDを緑色に点灯させます。リモコンやアンプ付きスピーカーのボタンで音量を変更することができます。

### USBを使ったオーディオの再生

コンピュータ機器とアンプ付きスピーカーM20の間に適切なUSB A-BまたはUSB C-Bケーブルを使用するだけです。USBドライバは自動的にロードされ、「SPDIF Out (Q Acoustics M20)」という名前になります。このデバイスをスピーカーとして選択すると、オーディオがM20システムを通して再生されます。

M20は、アクティブなUSBソース（電源が入っている）がオーディオ再生を開始すると、スタンバイ状態から自動的にUSB入力に切り替わります。

パワードUSBハブやスプリッターを経由して接続した場合は、自動切り替えに対応していません。

お使いのマシンが自動的にドライバをインストールしない場合は、手動で更新することができます。Q Acoustics社のウェブサイトから正しいUSBドライバをダウンロードするには、下記URLをご覧ください。

[www.qacoustics.co.uk/m20drivers](http://www.qacoustics.co.uk/m20drivers)

ファイルをコンピュータに保存し、Windows 11の場合は次の手順に従ってください。

1. デバイスマネージャーを開く
2. サウンド、ビデオ、ゲームコントローラの「USB2.0 High-Speed True HD Audio」を選択。ドライバを選択し「ドライバの更新」を選択。
4. 「Browse my computer for drivers」を選択し、ダウンロードしたフォルダーを参照し
3. 「Browse my computer for drivers」を選択。
5. その後、Windowsがドライバーを更新します。
6. 終了後、スピーカー選択から「SPDIF (USB2.0 High-Speed True HD Audio)」または「SPDIF Out (Q Acoustics M20)」を選択することが可能です。
7. 音楽再生アプリケーションを開いてお楽しみください。

M20のリモコンを使って、音量の調節や、この機能に対応した音楽再生アプリケーションの再生、一時停止、曲のスキップができます。

## 操作方法

### LEDの状態

赤	スタンバイ状態
薄い赤	ディープスタンバイ状態
白	光デジタルソースを再生中
白、点滅	音量を調整
白、3秒毎に2回点滅	再生できないマルチチャンネルまたはドルビーデジタル音声が入力中
青	Bluetooth音声を再生中
青、ゆっくり点滅	Bluetoothデバイスが接続されていない
青、点滅	Bluetoothペアリングモード
青、3回点滅	Bluetoothのペアリングリストが消去されました
緑	アナログソースを再生中
黄	USBソースを再生中
各色(白, 青, 緑, 黄) 点滅	ミュート状態

## 製品仕様

### アンプ

出力 (THD1%未満)	2×32W//4Ω
THD (at 20W//4Ω)	<0.2%
周波数特性 (DSPフラット設定) 20Hz - 20kHz (±0.5dB)	
S/N比 (Aux、A-Wtd、max vol、ref 1W)	>81dB
アナログ入力感度 (32Wの場合)	395mV
アナログ入力過負荷	2.2V
ミニジャックの入力感度 (32Wの場合)	220mV
ミニジャックの入力感度 (32Wの場合)	1.2V
サブアウト (100Hz、メインチャンネル32W時) 1.1V	
オプチカル入力	TOSLINK
最大サンプリングレート (OPT)	24bit/192kHz
最大サンプリングレート (USB)	24bit/192kHz

### スピーカー

エンクロージャーの種類	アクティブ2ウェイ バスレフ型 ブックシェルフスピーカー
低域用ドライバー	125mm (5.0in)
高域用ドライバー	22mm (0.9in)
クロスオーバー周波数	2.4kHz
周波数特性	55Hz - 22kHz(-6dB)

### 電源

電源	100V - 240V, 50-60Hz
最大消費電力	125W
待機時消費電力	<0.5 W

### Bluetooth®

Bluetooth仕様	V5.0 apt X, aptX HD®
	apt X Low Latency, SBC, AAC

### 外形寸法

(W×H×D)	170mm x 279mm x 296mm
---------	-----------------------

### 重量

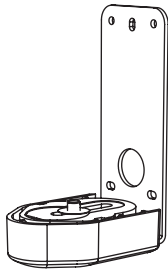
アンプ付きスピーカー	5.5kg
パッシブスピーカー	5.1kg



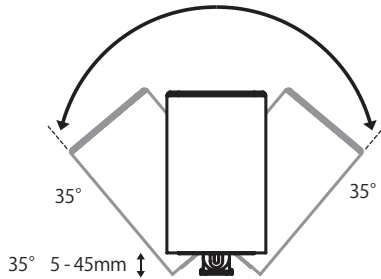
® 210-186791

## 専用アクセサリ（別売）

3000WB ウォールブラケット (単品販売)

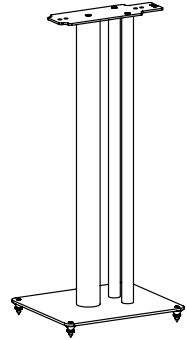


外形寸法 (WxHxD):  
70 x 159 x 99mm



3000WBの可変角度

3000IST スピーカースタンド



外形寸法 (W x H x D):  
250 x 682 x 290mm

## 保証について

【1】2022年現在 Q Acousticの正規代理店は株式会社イースタンサウンドファクトリーです。弊社は、製品添付保証書に記載された該当製品を指定期間、動作保証します。

【2】保証期間  
原則 保証書に記載の期間。

【3】保証内容  
保証期間内に弊社の責に帰すべき瑕疵により不具合が発生した場合は、代納品との交換または補修を無料で行います。商品添付の保証書に記載した保証期間を経過した場合は有料となります。

【4】有料修理  
保証期間内であっても、保証書に記載された特記事項に該当する場合は有料となります。

修理のご依頼等はお求めの販売店もしくは正規代理店(弊社)までご連絡ください。  
弊社の連絡先は以下になります。

### お問い合わせ先

株式会社イースタンサウンドファクトリー  
〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町205  
info@esfactory.co.jp  
TEL:045-548-6592  
受付時間 10:00～17:30 (土日祝日・弊社の定める休業日を除く)